

分析業(物流と情報)

常務取締役千葉事業所長 兼 筑波事業所長 加藤 元彦



分析業は、物流と情報との組み合わせ産業であると考えています。

分析とは、サンプルの中に潜んでいる有用な情報を取り出すことであり、この取り出しサービスを行うのが分析業なのです。

分析サービスを実施する際には、必ずサンプルが存在します。こうしたサンプルは一般的には量的に多くはありませんが、お客様のところから私共のラボまで運び込むという物流が必要になります。

私共が対象にするサンプルはあまり大きくはなく、宅配便の扱う荷物の範囲に大部分は入ってしまいます。近年宅配便も随分発達して便利になりましたが、この宅配便という便利な物流がなければ私共の分析業も今のようにはなり得なかったのではないのでしょうか。

お客様はサンプルを私共に送り込む際に、サンプルをどんな形にして、どんな容器に入れるか、包装はどうすればよいか、いつも悩んでおられることは容易に想像出来ます。

いわば現状はサンプルの送付責任はお客様にあるかのような状況になっていますが、本来ならお客様が何の迷いもなく、いとも簡単にサンプル送付が出来るように私共から提案すべきと思っています。

私共の最終製品である報告書をお客様

のところまで届けることも物流になるのです。お客様の希望納期に合わせて、分析・測定実務が終了したならば、報告書を直ちに、確実に、少しでも早くお客様の手元に届ける必要があります。

つまり、私共分析業は、最初と最後を物流に支配されているといえます。

このようにサンプルの物流には、まだまだ改善の余地があります。私共の事業所/営業所は全国8個所に分散配置されていますが、分散配置に適したサンプルと報告書のうまい物流手法を更に検討していく必要があると考えています。

弊社の経営理念は「すべては分析が始まる」という言葉から始まっていますが、まさに分析は情報群の中心にあると考えています。

お客様からご依頼を頂いた時点から、私共は情報群の中心に位置することになり、弊社の担当者は、分析実務を終了した時点から、お客様の機密事項の一部を知ってしまうことになります。

従って、サンプルから有用な情報を取り出すというサービスをお客様に安心してお使い頂くには、秘密保持に充分に力を注いでいく必要があります。

弊社では、お客様にご安心頂けるよう、何重もの秘密保持の仕組みを持つようにしています。

サンプルの中に潜んでいる有用な情報を取り出すことが分析なのですが、最近では本当に有用な情報を取り出すことが次第に高度に専門的になっています。

お客様自身で高額な機器を購

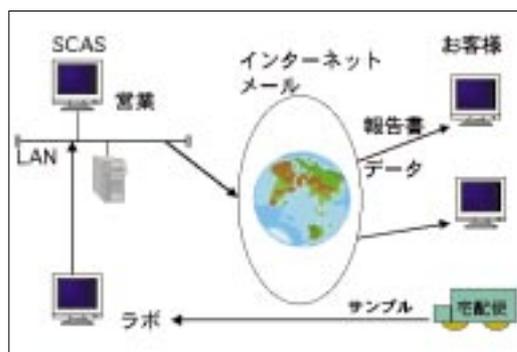
入し、それを駆使出来る高度な技術者を育成するよりも、私共にお任せ頂ければ、はるかに安く、早く、技術者の育成に心煩わすことなく安心して必要な情報が得られることとなります。

私共の分析サービスは、サンプルから有用な情報を取り出す“ Outsourcing ”そのものであり、私共はこの“ Outsourcing ”の時流に乗っている、との実感を持っています。

お客様の活動が次第にGlobalになるに従って、私共がサービスとして提供したサンプルに関する情報もGlobalな基準に合致するものであることが大事なことになります。

そのために私共はISO 9000やGuide 25の取得に努力してまいりました。特にGuide 25の取得は、私共のような分析業には重要なものと位置づけております。

情報と物流の組み合わせと考えられる分析業ですが、それぞれの内容や組み合わせに今後もいろいろと工夫・努力を加えていくことによって、お客様がより満足して頂けるものにしていきたいと考えています。



ISO 9001 認証登録

JQA-1105

JQA-1814

JCQA-0253

ISOガイド25 認定試験所

LJP1-Z90117JP

編

集

後

記

名古屋市立大学学長伊東信行先生に提言を賜りました。誠にありがとうございました。今世紀に花を咲かせた科学技術に基づく諸問題はやはり科学的に解決すべきであろうと思います。先生が提言において触れておられますように環境ホルモンなる社会問題が発生しました。分析を通じて環境保全のお手伝いをしている弊社としても看過できない問題です。問題提起されている多くの化合物を分析する体制が整備されました。本誌で

は当初計画を変更して、弊社が本問題に対応できる技術を一歩の許す範囲でご紹介することといたしました。分析技術4件、また分析あるいは安全性評価に必要な化合物の合成、分取精製技術を載せることができました。なお使用用語が統一されていなかったので物質を示す場合には可能な限り「内分泌攪乱化学物質」としました。信頼度の高い分析結果をご提供できるものと信じています。(SY)



はインシュタインの疑問符で、彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical
Analysis Service

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 1999.7.8 1999- (通巻10号)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp>

東京営業所 TEL 03-3257-7201	千葉営業所 TEL 0438-64-2281
大阪営業所 TEL 06-6202-1000	千葉事業所 TEL 0438-64-2284
愛媛営業部・愛媛事業所 TEL 0897-32-3411	大阪事業所 TEL 06-6466-5247
岡山営業部・岡山事業所 TEL 086-477-8103	大分営業部・大分事業所 TEL 0975-23-1181
カーシステム事業部 TEL 06-6202-0016	筑波事業所 TEL 0298-64-4741
ファーマ事業部 TEL 06-6466-5246	科学機器事業部 TEL 06-6466-5243/5249

本誌は再生紙を使用しています。